



平成 30 年 10 月 1 日発行  
第 19 卷第 10 号 通算 224 号  
編集兼発行人 山本 久男  
発行所 宗教法人 佛立本旨講 妙應寺  
〒 113-0021  
東京都文京区本駒込 6 - 6-11  
☎ 03-5319-3490  
FAX 03-5319-3491



(Web版)

信のとびら

御奉公のよろこび

水谷随歎

開導聖人ご教歌に「人に物やりし  
おもひにくらぶれば もらひしより  
もうれしかりけり」というお示しが  
あります。人から好きな食べ物はい  
ただくのも嬉しいのですが、人に好  
物を差し上げて喜ばれる方がもつ

と深い喜びが感じられるものです。  
また、人に喜んでもらうこと以上  
に、信心では御宝前にお悦びいた  
きたいとお敬いの心でお給仕させ  
てもらうことが喜びなのです。御宝  
前にお悦びいただいた功德はわが

身の幸いとなります。

明治十八年七月のことです。東南組の奥田嘉平が言うことには、貧乏な井戸屋だが「信の一字」を守り抜く正直一方の信者がいるとのことでした。この人は例月一日、宥清寺の御宝前に米一升を奉納するのを生涯の楽しみとしています。一日に参詣するには十六銭入用でした。御賽銭五厘、お線香五厘、お油料五銭、御口ウソク三挺一銭五厘、お花五厘、米一升八銭、メて十六銭。井戸屋にとっては結構な出費でしたが、不思議に仕事が入って欠かすことなく奉納が出来るのだそうです。

ある時、米一升を奉納しようにもお米が足りません。そこで井戸屋は自分が食べるお米を減らして翌日の奉納に備え、お米が足りない分は水を増やしてその晩の御飯を炊いたのです。炊き上がったご飯はいつもと変わらぬ硬さだったということ。 (扇全12巻256頁)

法華経修行の根本は「信の一字」にあり、高祖大士の御恩を忘れずに喜んで信行に励む人はより多くの功德がいただけることは間違いない、といわれています。お米を減らして水を増やせば炊きあがるのは御粥のはずですが、御飯はいつもと

同じだったという何とも不思議な話です。一事が万事、井戸屋にはいつもこのようなお守りがあるということでした。

また明治十二年にはこんなことがありました。奥さんの癩癩が原因で家庭が崩壊しそうな家があります。その様子を見ると放ってはおけません。癩癩は不治の病と聞いてはいましたが、その人を救おうと一日一万遍のお題目口唱を百日間つづけた信者がいたので。驚いたことに、ついに病気は収まり夫婦も和合して家庭の危機を乗り越えたのでした。(扇全6巻190頁)

一日一万遍の口唱といえは五時間ばかりです。それを三カ月以上もつづけるエネルギーは一体どこから出てきたのでしょうか。これも御題目口唱の御利益を度々体験していればこそ湧き出てくる菩薩心に違いありません。

人の役に立っているという実感が最も奥の深い喜びだといわれています。損得を抜きにしたご奉公のよろこびを体験させていただきましよう。

# 10月のご奉公のすすめ

## 本年度のテーマ・参詣将引

今月は、高祖日蓮大士の御祥月です。10月14日には高祖会が奉修されます。お祖師様は「お題目を口に唱える信行こそが一切衆生を苦から救う法である」

と確信され、数々の怨嫉おんしつを受けながらも、妙法のご信心を弘められました。家族との会話に高祖会の話題を交えるなどして「参詣将引」につとめましょう。

## 今月の随喜轉教

「信仰心の起こるもとは、仏に願う心です。初めは、気持のこもらない形だけの祈願でも結構です。家族皆に祈願をかけてもらいましょう」との教え通り「孫が進学問題を抱えているので祈願を勧め孫の母にもお願いしま

した。思いのほか素直に聞いて翌日にはお盛物を買って供えてくれました」と喜んでいられる方もいます。  
日常のチョツとしたことも見逃さず、家族の信仰心を起こす努力を続けましょう。

## 10月の寺内行事予定表

- 1日～7日 開講本旨再興祈願  
朝参詣週間
- 1日(月) 開講本旨再興祈願総講  
午前10時半
- 6日(土) 運営会議 午後12時半
- 8日～14日 高祖会無事奉修祈願朝参詣週間
- 13日(土) 連合幹事会 午前9時半
- 〃 後続者育成係連絡会 午前10時半
- 〃 高祖会全体会議・準備 午前10時
- ご奉公 午前10時
- 14日(日) 高祖会

# 来月のご奉公のポイント

## 一、信徒講習会

本年度第二回信徒講習会が左記の日程で開催されます。テーマは「家族の絆Q & A 4、5」です。家族と信心の話をするきっかけ、話題作りの参考にあります。

11月8日(木) 午前9時半  
11月17日(土) 午後12時半  
11月23日(祝金) 午前9時半

## 二、七五三無事養育成長御礼 言上式

11月18日(日) 午前11時より  
本堂にて七五三無事養育成長の御礼言上式が奉修されます。子供達の成長に感謝し皆でお礼のお看経をさせて頂きましょう。

## 三、御本尊拝受御礼御講

11月、12月の甲御講で、懐中御本尊・自動車御本尊・ロケツト御本尊を拝受されている方は一年の御礼を言上させて頂きましょう。この機会に諸御本尊にご不敬がないかよく確認しながら、必ずおちり払いをさせて頂きましょう。尚使用されない御本尊はお寺に返納することをお勧めします。

## 四、静岡聞信寺団参

11月11日(日) 静岡聞信寺の団参です。当番参詣は第二地区です。大勢でお参詣させて頂きましょう。他地区の方々も応援参詣させて頂きましょう。

第一座 午前10時

第二座 午前11時半

17日(水) 開導聖人御命日総講

午前10時半

21日(日) 口唱会

(担当: 第三地区)

午前9時半

// 若い人の口唱会

午後10時半

25日(木) 門祖聖人御命日総講

午前10時半

// 正副教区長会

午後12時半

一地区…和室

二地区…2階ホール

三地区…1階ホール

31日(水) 赤い羽根共同募金締切

# 昭和の日本と共に歩んだ日晨上人をお偲びして

8月26日(日)、日晨上人祥

月御命日法要が奉修されました。

この日、昭和55年3月25日のお総講での日晨上人のご法門の音声と当時の写真で構成したスライドをご覧いただきました。

その後の、御導師よりのご訓話は次の通りです。



1

肉声の御法門を聞かせていた  
だと、懐かしい往時の雰囲気  
が蘇ってきます。日晨上人がご  
遷化されたのは昭和59年8月31  
日で、もう34年も前のことでは  
から、ご存知ない方も多かるう  
と思われまので念のため申し  
上げます。日晨上人は開講本旨  
再興日尚上人のお師匠で、我々  
の出自である乗泉寺の先代住職  
として大正12年から昭和49年ま  
で御奉公なされたお方です。

2

その50数年の間には、大正

## 平成30年8月の寺内行事報告

1日(7日) 開講本旨再興祈願

朝参詣週間

1日(水) 開講本旨再興祈願総講

を午前10時半より奉修

4日(土) 運営会議を午前9時半

より開催

// 高祖会奉修本部会議を

午前10時半より開催

9日(木) 日晨上人祥月御命日法

要奉修費、参加人数、お塔

婆申込締切

11日(土) 連合幹事会を午前9時

半より開催

// 後続者育成係連絡会を

午前10時半より開催

12年の関東大震災からの復興事業。昭和2年の麻布乗泉寺の開筵式。昭和19年の日歛上人ご遷化。昭和23年の本門法華宗からの独立等々。数多くの難題を乗り越えて乗泉寺の組織化、近代化を推し進められました。中でも関東大震災や太平洋戦争は多くの犠牲者を出し、御弘通御奉公の伸展の障害として重くのかかりましたが、日歛上人以来の「給仕第一」の敬いや、開導聖人以来の「呵責謗法当宗持戒、一向口唱此経本意」という信心の核心部分を守り抜き、現証御利益のいただける信心を伝え遺して下さったのです。

### 3

そう考えると、今の我々佛立本旨講の信心が成り立っているのは、まさに先師上人の御苦心の賜物です。この機会に改めて日晨上人のお徳を思い、代々先師上人の御奉公に感謝して、開導聖人以来150年伝承されてきた妙法口唱の御利益を100年の後世に伝える御奉公に精進させていただきます。よろしく。



左手前は、日尚上人と一緒にの副住職水谷随歛師。

13日(月) 高祖大士御命日総講を

午前10時半より奉修

17日(金) 開導聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

19日(日) 開講本旨再興祈願口唱

会を午前9時半より奉修

// くんげ会・蓮華会合同

御講を午前10時半より奉修

25日(土) 日晨上人祥月御命日法

要準備ご奉公を午前9時よ

り実施

// 門祖聖人御命日総講を

午前10時半より奉修

// 正副教区長会を午後12

時半より開催

26日(日) 日晨上人祥月御命日法

要を午前10時半より奉修

# 五時間の意味をかみしめた口唱会



5時間に及んだ口唱会の後、御導師より、次のご挨拶をいただきます。



① 竜口法難は、光り物が飛来

して日蓮聖人を処刑することが出来なかつたという現証利益のお手本です。また、日蓮は一巨命を落として魂となつて佐渡に渡つたと後述される、言わば人間日蓮から上行日蓮に生まれ変わる変わり目でもあつたのです。

② 4月の立教開宗は、如何なる迫害にも負けずにこれから妙法を広めます、という宣言の場面でした。

③ 竜口は、宣言した通り迫害怨恨に負けずに妙法を広め、御経

文の真実を証明し終えた日です。これ以後は上行菩薩の生まれ変わりとして妙法を後世に伝え遺します、という新たな宣言をした日でもありました。

④ 聖人の人生は、第一幕、第二幕という具合に起承転結きしょうてんけつが明確に見て取れます。我々凡人はそれは行きませんが、これからは次世代に信心を伝える時期だ、というきっかけを見つけて、目的意識をはっきりと持った御奉公に取り組みましょう。



また、次ページの写真は、この日の口唱会を契機に法鼓のご奉公を始められた方々です。



法鼓ご奉公  
ありがとうございました



目黒教区 野々垣佳代子さん(右)  
「40年ほど前の青年会時代に習ったきりでしたが、久しぶりにご奉公しました」



中里教区 鳥海早智子さん  
「8月からローテーションに入ったばかり。今回はトップバッターだったので、心臓が破裂しそうでした」



かながわ北教区 水野紀恵さん  
「76年目にして初めての法鼓のご奉公ですが、お看経がこんなに力強く、また楽しいものと初めて感じました」

## 男性信徒、お助行で水戸へ

今年水戸市に移住された高橋治朗さんご一家宅でお助行をさせて頂きました。事務局で本堂移転を含め長年本堂護持に尽力された高橋さん宅への応援助行は我々の願いでした。当日は東京から6人、栃木教区と地元水戸教区から4名の男性信徒と家

族御信者も加わりました。

御供養は、大洗漁港の海鮮食堂で各自気に入った海の幸をオーダーして和気あいあいに楽しい一日を過ごしました。

9月はいよいよ静岡・聞信寺との交流お助行です。

8月  
24



# 毎回創意工夫の れんげ会・くんげ会



夏の合同御講は、室内で工作や食べ物作りをするのが恒例です。

今年は「バター作り」を行いました。

30人程が集まり、ペットボトルに生クリームと塩を入れて振ると、1分ほどで、あっという間に出来上がります。

食パンに手づくりバターを塗り、各々が卵やポテトサラダ、フルーツをはさみ、オリジナルのサンドウィッチを作り、御供養としていただきました。

企画するうえで、火や包丁をなるべく使わず、短時間で誰に



でも簡単に作れる物を探すのは一苦労ですが、参加者から、楽しかった、また作ってみたい等

の声を聞くと、とても嬉しい気持ちになります。

そして、小さい時にお参詣していた子ども達が大きくなり、企画を立てる側になって御奉公に励んでいる姿を見るのは、もっとも嬉しいことです。

年3回の行事ですが、回を重ねるごとに顔見知りが増え、他の子ども達の成長に驚きながら会えるのも楽しみのひとつです。

楽しかったという思い出を胸に、少しでもお寺に足が向くきっかけとなり、若い世代のご信心の輪が広がっていくよう、これからも御奉公に励みます。ぜひ、皆さんもくんげ会・蓮華会の合同御講や錬成会に参加して、楽しさを味わって下さい。



## 信心のきつかけは参詣将引

安藤照志師



私は信者の家に生まれて御家族に守られ元気に育ちましたが、そんな中で子供の時の忘れられない体験があります。

それは七歳の時でした。遊んでいて霜よけの竹にお腹を刺してしまったのです。後で考えると、刺さった場所があと数センチ内側であったら心臓に刺さるところでした。命拾いのお計らいを頂いたのです。今でもその傷跡が残っていて時々痛みます。痛むたびに御宝前から「命を頂いたことを忘れるな！」と言われている気がします。

この様に親の信心のお陰を頂き過ぎてきましたが、私が進んで信心するようになったきっかけは廿歳の秋です。堅信会のお講参詣をすすめられ、始めて御講に参詣しお講師の話を書きました。御利益の頂ける信心、日常信行を実践する信心、道理・文証・現証の三つの物差しに叶う信心である事等を知り、この信心なら絶対間違いないと思いが奉公が始まりました。

又、仕事は父の造園業を十七歳で引継ぎ、先輩の社長さん達に、仕事の技術・考え方・進め

方などを教えて頂き、信頼関係も深まり一本立ちが板についてきました。

親から大事な宝を次々引継ぎ家長となつて、家族の協力の基、信心中心の生活が実現しました。信心第一であれば仕事も家庭も順調にすすむのです。

その後、役中のご奉公から教務のご奉公までさせて頂き、早いもので五十五年の歳月がたつてしまいました。今では子供や孫達にも信心が伝わり信行相続の大願も成就させて頂けそうで、生涯かけてお願いし続けます。他にも数々のお計らいを頂き今があります。二十歳の時の参詣将引のお陰です。

## 幼少期からお寺に

妙証会東武 Yさん

僕は幼少期からお寺にお参りさせて頂き、お寺が好きです。去年の大学受験の時は蓮華会の皆さんに応援してもらいましたが希望校に行けず今の「文教学」に進学しました。

蔵駅から茅ヶ崎駅で2時間かけて毎日大学に通っています。友達も沢山できて楽しい学校生活を送っています。高校3年間では沢山の経験をしました。2年の時には初めて海外に2週間短期留学をしました。

学校行事としてハワイに行き

ました。趣味で料理をしていたので2週間毎食自分一人で班員の料理を作りました。皆に大変喜ばれました。最終日には日本では買えない食べ物や高価な

ものが買えたので凄く楽しかったです。同じ時期に初めてアルバイトを始めました。マクドナルドで仕事をしていて今年で3年目になりました。今年の4月からはアルバイトマネージャーになりお店の責任者として社会勉強をさせてもらっています。



高祖会(10月14日(日)奉修)のご案内はがきを発送しました。ご家族揃ってお参詣させていただきよう、話し合しましょう。

また、同居していない家族の方への参詣将引のために、寺務所に手渡し用をご用意しております。

## 代々引き継がれたこの信心

中里教区 Sさん

私の母の話をさせて頂きま  
す。  
れた病院勤めで、婦長さんに乳  
がんの疑いを指摘されました。

母は嫁ぎ先の義父（私の祖父）  
が信心をしていた事がきっかけ  
で、ご信心を始めたそうです。  
余談ですが、祖父は戦争中もリ  
ヤカーに御宝前を乗せて戦火を  
凌いでいたそうです。

その後、母は姉や私、それま  
であまり熱心にご信者をしてこ  
なかつた父だけではなく、関さ  
んや池田さんにもご信心を広げ  
ました。

58歳を超えて、友人に勧めら

幸いにも、手術は無事終了し、  
抗がん剤治療もせず今に至つて  
います。現在は、皆さんご承知  
の通り、元氣すぎるくらい元氣  
に毎日を過ごしています。  
少々の事では病院に行かない  
母なので、もし病院に勤めてい  
なかつたら、婦長さんに指摘さ  
れなかつたら、と思うと怖くな  
る時がありました。でも、きっ  
と、この流れは母が御利益を頂  
けたからなのではないか？とお

もうようになつたのです。

嫁ぎ先で素直にご信心を始め、  
皆に広め、常に周りの人たちの  
健康と幸せを願つてご信心をし  
て来た母は、ご利益を頂けたと  
思います。

このご信心に巡り合えて、と  
ても大きなご利益を頂けて、母  
は本当に幸せだと思えます。  
御法様に救つて頂いた命を大事  
にして、これからも夫婦で元氣  
にお寺参詣出来る事を願うばか  
りです。

そして、私も、母が祖父から  
受け継いだこのご信心を絶やす  
ことなく、引き継いでいけたら  
と思います。ありがとうございます  
ました。

## 次世代の横のつながりを

品川教区 Mさん

7月の第二地区の後継者育成助行は、品川連合のIさん宅で実現することが出来ました。若い家族の家庭で育成助行を受けて頂けたことを助行者全員が喜び、更に他の次世代家族へ助行のお席をすすめる思いがふくらみました。

Iさん宅は横浜市のこどもの国駅のそばで、お寺からは山手線・田園都市線・こどもの国線と乗り換え、約2時間近くのものであります。

「こどもの国」は皇太子明仁親

王のご成婚、浩宮徳人親王のご生誕を記念し、昭和40年5月5日設置された児童厚生施設ということで、Iさん宅は自然豊かな住宅地です。

三姉妹の子供達は、近くに自然がある環境で、きつとのびのびと育ったことでしょう。

お助行は16名の参加で、事務局長さんの導師のもと30分の口唱を拍子木無しでも良くそろって、育成の思いのこもった、実に気持ちの良いお看経をさせて頂きました。

その後も、Iさんの娘さんたちと多摩教区のMさんの娘さんが同じ学校だったと言うことで話が盛り上がり、とてもほほえましいひと時を過ごさせて頂きました。こうして信者の子供たちが顔見知りになり、信心で裏打ちされた信頼関係の輪が広がって、ご弘通のお役に立てる人物に皆が育ってくれたら、百年の系も心配ないと思えました。

現実にIさんは、今まで荏原教区に所属していましたが、若い家族の多い地元の多摩教区に所属する気持ちになって下さいました。

次世代の横のつながりの大事を感じた後継者育成助行でした。

# ★こどもたちの会★

## ねが ほんとう ねが がね 「お願いすると本当に願いは叶うの？」

⑥ その頃、あなたのお母さんはまだ小さくて歩行器に乗ってたんだけど...



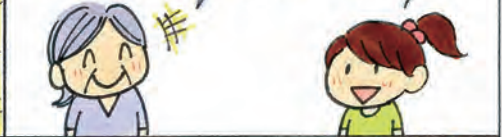
⑥ 信じてみるとね、違も良くなるし、守られるんだよ。



⑦ 自分で漕ぎ進んで2階から落ちてしまったのよ。気付いた時にはもう間に合わなくて...



⑦ 御室前があるから、乗り越えられる気が違うんだよ。



⑧ とにかく、あなたのお母さんは無傷で助かったのよ。



③ あなたへのひいおはあちゃんはね、目がもうダメかもって思う程ひどい病気にかったの。

④ それでもお題目を唱えて乗り越えて

⑩ そうだね、正にそのお陰を頂いたネ!



⑤ そんな大病から15年も生きたのよ!

# 鍊成会のお知らせ

## 第一地区鍊成会のお知らせ

9月9日(日)10時~ 本堂



第1部・本堂  
御看経  
法話



第2部・和室  
①覚えて踊ろう  
東京五輪百韻2020



②介護予防  
脳トレ  
熱中症予防  
講師 鈴木静子さん  
(富里教区)  
③御供養

皆さんで参加しましょう



## 第三地区 鍊成会 ご案内

日時：9月15日(土)

■ 10時半 本堂お看経

■ 12時 アートアクアリウムへ出発  
場所 日本橋三井ホール  
(中央区日本橋室町 2-2-1)  
コレド室町 1 5F(エントランス 4F)



イベント上 日本橋三井ホールアートアクアリウム2018.9.15. 会場6階